

6. 植生区分修正区域分布図の修正

以下に従い、植生区分修正区域分布図を修正する。

環境庁であらかじめ作成した「植生区分修正区域分布図」に、3. の「植生改変地補完調査」により、明らかに植生変化が無いと判断された箇所の削除や、植生改変地の境界線の修正を行うとともに、4. の「植生図修正調査」により新たに抽出された修正区域を追加表示する。

(1) 3. の「植生改変地補完調査」関連

- ア) 「植生区分修正区域分布図」に表示されている境界線および対照番号のうち、変更する必要のないものは、確認した修正区域としてそのまま活かす。
- イ) 「植生区分修正区域分布図」に表示されている境界線の位置を、この調査結果によって修正する必要がある場合は、赤実線で重ねて追加表示する。そして、修正区域の新たな対照番号を、各々の領域内に、または引出して、赤で表示する。
- ウ) 「植生区分修正区域分布図」に表示されている境界線および対照番号のうち、明らかに植生変化が無いと判断された箇所については、その区域の上から赤字で×印を表示する。

(2) 4. の「植生図修正調査」関連

- ア) 追加表示する修正区域の境界線は幅 0.2mm 程度の赤実線で示す。各修正区域の領域は必ず閉じた赤実線で囲まれるようにする。
- イ) 追加表示する修正区域の対照番号を、各々の領域内に、または引出して、赤で表示する。

(3) レイアウト

図全体のレイアウトは、[別紙 2] に準ずるものとする。

既に環境庁で、図名、都道府県名、地図番号、新旧画像撮影年月月については記入してある。

(4) 接合

隣接する図幅間および都道府県境界付近でズレが生じないよう特に配慮すること。

7. 植生改変地補完調査票の追加記入

3. の「植生改変地補完調査」については、[別紙 3] に示す例に従って、現況植生区分*、改変原因、調査方法等を取りまとめ、環境庁であらかじめ作成した「植生改変地補完調査票」に追加記入する。

*…植生の表示番号（凡例番号）は、原則として第 2・3 回調査における「凡例表」の表示番号と共通とする。

(1) 環境庁では、以下の項目について既に調査票に記入している。

改変対象期間、都道府県コード、都道府県名、地図番号、図名、植生図の調査回、改変地番号、旧植生区分、面積、画像判読で把握した現況植生区分、画像判読で把握した改変後の土地被覆状況

(2) 都道府県は、環境庁によりあらかじめ記入してある。

旧植生区分、画像判読で把握した現況植生区分、
画像判読で把握した改変後の土地被覆状況等

を参考にして、

都道府県調査で把握した現況植生区分、

都道府県調査で把握した改変理由、

を記入する。

(3) また、調査者所属・氏名、調査方法を記入する。

(4) 「植生区分修正区域分布図」に表示されている植生改変地のうち、明らかに植生変化が、無いと判断された箇所については、「都道府県調査で把握した現況植生区分」の欄に旧植生区分を記入し、「都道府県調査で把握した改変理由」の欄には記入しない。

(5) 植生改変地補完調査を行わなければならない区域の内、何らかの理由により調査を行うことが出来なかったものについては、調査方法の欄の「0. 資料なし、調査できない」に印を付け、「都道府県調査で把握した現況植生区分」の欄と「都道府県調査で把握した改変理由」の欄には記入しない。

(6) 「都道府県で把握した改変理由」の欄で、改変が発生した年月や改変の名称等については、可能であれば記入する。

(7) 現地写真については、現地調査を行って写真が存在する場合に限り添付する。

8. 植生図修正地域一覧表の作成

以下に従い、植生図修正地域一覧表を修正する。

[別紙 4] に示す例に従って、環境庁であらかじめ作成した「植生図修正地域一覧表」に記入されている現況植生区分について、3. の「植生改変地補完調査」の結果により削除や修正を行うとともに、4. の「植生図修正調査」により新たに抽出された修正区域について、改変地番号、旧植生区分、現況植生区分*、修正区分等を取りまとめ、追加記入する。

*…群落の表示番号（凡例番号）は、原則として第 2・3 回調査における「凡例表」の表示番号と共通とする。

(1) 3. の「植生改変地補完調査」関連

- ア) 「植生図修正地域一覧表（その 1）」には、衛星画像解析によって抽出された植生改変地についての情報が既に記入されている。これらの情報については、「植生改変地補完調査」の結果により修正等を行う。
- イ) 「植生改変地補完調査」の対象となる植生改変地については、「植生図修正地域一覧表（その 1）」の「補完調査」欄に※印が記入されている。それ以外の植生改変地については、原則として修正を要しないが、都道府県独自の情報として明らかに誤りであると判断される場合には、「備考」欄に理由を記載して修正することが出来る。
- ウ) 「植生改変地補完調査」を行った植生改変地については、原則として「植生図修正地域一覧表（その 1）」の「現況植生区分」欄の下段に、「植生改変地補完調査票」の「都道府県調査で把握した現況植生区分」の番号を記入する。
- エ) 「植生改変地補完調査」により植生変化が無いと判断された箇所については、「植生図修正地域一覧表（その 1）」の「修正区分」欄に×印を記入し、「現況植生区分」欄の下段には何も記入しない。
- オ) 「植生改変地補完調査」により植生改変地の境界を変更する箇所については、「植生図修正地域一覧表（その 1）」の「修正区分」欄に×印を記入し、「現況植生区分」欄の下段には何も記入しない。そして、新たに改変地番号をつけて、旧植生区分、現況植生区分、修正区分等を取りまとめ、「植生図修正地域一覧表（その 2）」に記入する。また、「修正前改変地番号」欄には、「植生図修正地域一覧表（その 1）」での改変地番号を記入する。

(2) 4. の「植生図修正調査」関連

画像解析で抽出されなかった重要な植生改変・変遷や、前回調査以降の知見により、現存植生図の表示内容を修正すべき区域について、旧植生区分、現況植生区分、修正区分等を取りまとめ、「植生図修正地域一覧表（その2）」に記入する。

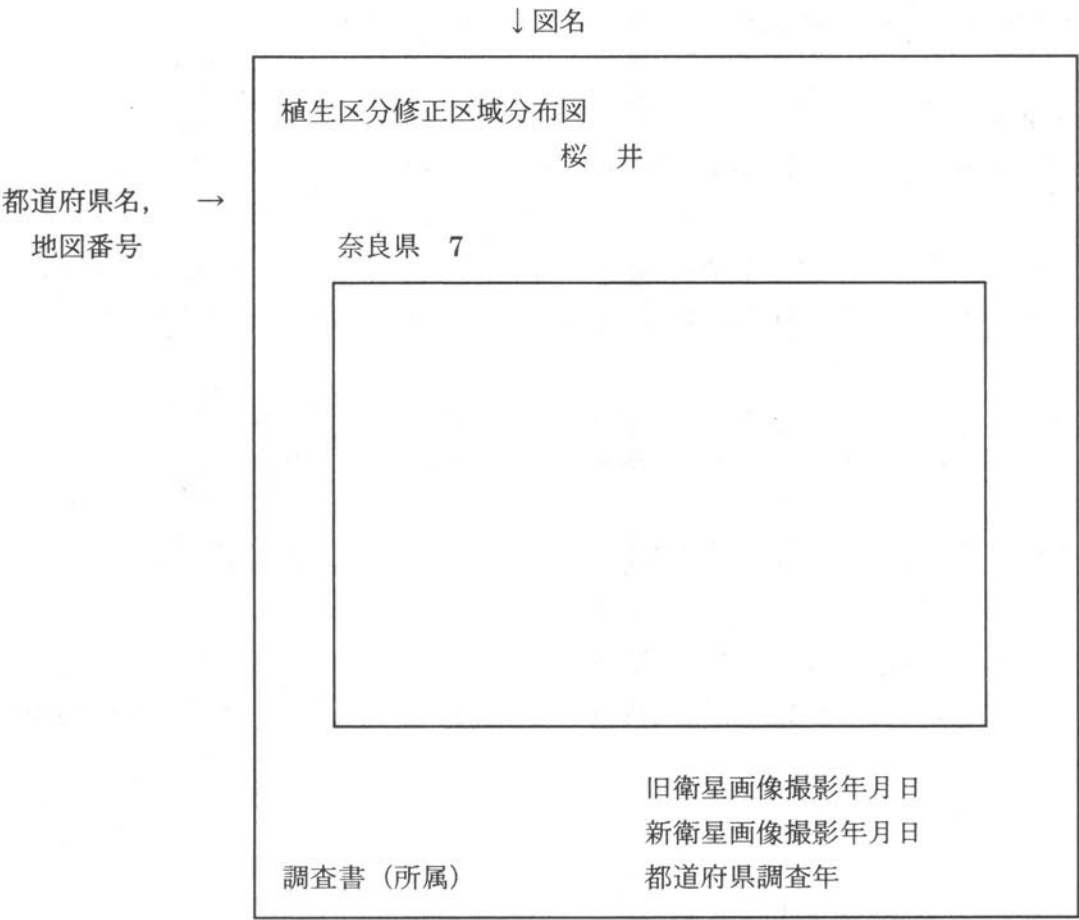
(3) 共通事項

- ア) 「植生図修正地域一覧表」は各植生図毎に作成する。
- イ) 「植生図の調査回」の欄には、修正補完を行うべき 1 : 50,000 現存植生図の調査が行われた自然環境保全基礎調査の調査名（2 回又は 3 回）を記入する。
- ウ) 「植生図修正地域一覧表（その2）」の「修正区分」の欄には、今回の修正の理由を「修正区分コード」の中から選んで、その番号を記入する。
- エ) 「備考」の欄には、調査に使用した資料名や聞き取り先等を記入する。

9. 都道府県別植生凡例一覧表

各都道府県で使用した全ての植生凡例〔表示番号、群落名、コード〕を一覧表にまとめる。

[別紙 2] 植生区分修正区域分布図のレイアウトの例



参考資料－5 自然環境保全基礎調査植生分科会及び植生調査手法検討作業部会名簿

●植生分科会

	氏 名	現 職
	奥田 重俊	横浜国立大学環境科学研究センター教授
	奥田 敏統	国立環境研究所地球環境研究グループ 森林減少・砂漠化研究チーム総合研究官
(座長)	奥富 清	(財) 日本自然保護協会理事長
	梶 幹男	東京大学農学部附属演習林教授
	波田 善夫	岡山理科大学総合情報学部教授
	森山 隆	宇宙開発事業団地球観測システム部／ 地球観測推進部主任開発部員
	安岡 善文	東京大学生産技術研究所教授

●植生調査手法検討作業部会

	氏 名	現 職
(座長)	奥田 重俊	横浜国立大学環境科学研究センター教授
	奥田 敏統	国立環境研究所地球環境研究グループ 森林減少・砂漠化研究チーム総合研究官
	森山 隆	宇宙開発事業団地球観測システム部／ 地球観測推進部主任開発部員
	安岡 善文	東京大学生産技術研究所教授